

第 2 回市民活動との協働促進に向けた庁内研究会のまとめ

日時：平成 22 年 12 月 16 日（木）午後 1 時 30 分から

内容：愛知県における協働の取り組みについて、グループワーク

※グループワークテーマ 「協働を進めるためには、コレが必要！」
協働を進めていくために、行政や NPO が守るべき基本的原則を踏まえ、それを行動に移していくための、具体的なアイデア・提案を出し合い、どのような取り組みが実践できそうかを議論した。

表 協働の基本的原則

対象	原則
行政と NPO 共通の姿勢	① 目的・目標の共有
	② 相互理解
	③ 対等の関係
	④ 透明性の確保
	⑤ 評価の実施
行政の姿勢	① 組織横断的な連絡調整
	② NPO に対する適切な理解と配慮
NPO の姿勢	① 守秘義務
	② 公の資金を使う自覚と責任

行政の姿勢

＜組織横断的な連絡調整の具体的なアイデア＞

- ・ 庁内の事例発表会
- ・ NPO よろず相談窓口（ワンストップ窓口の明確化）
- ・ 組織間のつながりをつくり、協働の悩み・課題を共有

＜NPO に対する適切な理解と配慮の具体的なアイデア＞

- ・ 他部局事業見学と報告書回覧
- ・ 活動報告会の実施 広報のしくみづくり
- ・ NPO 団体などの活動を知らせる
- ・ 不公平は個性（パイロット事業の創設）
- ・ NPO の今・昔（事業実施の現場見学や活動報告書の回覧など）

行政と NPO 共通の姿勢

＜目的・目標の共有の具体的なアイデア＞

- ・ 事業計画を NPO と連名で作成するなど、行政と NPO の共同作業
- ・ 計画段階からの NPO の参画
- ・ 協働アドバイザーの設置

＜相互理解の具体的なアイデア＞

- ・ NPO の活動内容を体感するために、会員で年 1 回は参加しよう
- ・ NPO の事務所での打ち合わせ
- ・ 行政と NPO の人事交流
- ・ イベントを開催して顔を合わす機会を作る など

＜対等の関係の具体的なアイデア＞

- ・ 人件費等を最低限決めておく
- ・ あらかじめ役割分担を決める など

＜透明性の確保の具体的なアイデア＞

- ・ プロポーザル方式の企画競争
- ・ 選定基準の明確化（ひな型事業例集） など

＜評価の実施の具体的なアイデア＞

- ・ 自己評価と他者評価（参加者アンケート等）
- ・ 市民をまじえた評価会
- ・ 協働事業のモニター制度

NPO の姿勢

＜守秘義務の具体的なアイデア＞

- ・ 契約時に条項を確認し合う

＜公の資金を使う自覚と責任の具体的なアイデア＞

- ・ 公金の支出手続きの勉強会（法令、規則など）
- ・ 成果に応じた助成金支出
- ・ 公金（税金）に関わることの理解と自覚を育む